

郷土館だより

V o l . 16. No.2

1994. 3. 15



蓄音機

蓄音機（ちくおんき）という呼び方をしなくなってからずいぶん久しいように思います。

蓄音機に電気が導入されて電蓄となり、その後はレコードプレーヤーなどの横文字呼称時代が続くが、今ではそのレコードも姿を消して、CD全盛時代となりました。

時代の流れの中で蓄音機という呼称は死語同然になってしまいましたが、昔を懐かしむ者にとっては、今でも「ちくおんき」という響きにハイカラな文明を思い起こします。

写真は手巻きぜんまい式の箱型蓄音機で、本体右側に取り付けたハンドルを一杯に回してからレコードをのせ、ぜんまいのブレーキを外せば音が出る仕組みとなっています。上段の箱の扉を開けば、箱の中で共鳴した音が外に飛び出してくるスピーカーの役割を果たします。

音質は現代のものとは比較にならないほど悪いものですが、それでも、当時は箱に耳を付けるようにしてレコード鑑賞をしたものです。

ふるさと講座 市内史跡めぐり

女性を対象としたふるさと講座、今年は三島市を4つの地域に分けて、史跡・文化財めぐりを行い、三島の歴史・文化・民俗に対する理解を深めました。

各地域に詳しい4人の講師の方々は、史跡や歴史ばかりでなく、文学・水系・石・山野草と、幅広い知識と経験を持たれ、たいへん詳しくお話下さいました。

受講した30人の女性は、三島のもつ歴史の奥行きや、豊かな自然とそれに育かれた民俗を実感し、大きな糧を得られたようでした。

(1)「北上地区を歩く」11月11日 講師 望月一夫氏
バスにて佐野街道分岐から龍沢寺へ。お寺の由来や歴代住職のお話を伺い、佐野・徳倉へ。徒歩で八乙女神社～徳倉城跡～歓喜寺まで史跡を訪ねました。歓喜寺では、寺宝を多く拝見させていただきました。

(2)「中郷地区を歩く」11月26日 講師 伊達主氏
向山小前より箱根を登る韮山道を東大場まで歩き、向山古墳群や周辺の史跡のお話を伺いました。バスで梅名の右内神社・御園の蔵

六寺・神明神社、長伏の泉伏寺、松本の崇徳院、温水池等を巡り、石造物や樹相など、中郷の歴史に触れました。

(3)「旧三島町を歩く」12月3日 講師 秋津亘氏
強い西風の中、わずかに残る歴史の痕跡を求めて、市の中心街を歩きました。

中央町別館にて、三島の歴史・史跡等の話を伺った後、三嶋大社・祐泉寺・桜川の分岐・楊原神社・国府跡・源兵衛川・国分寺・本覚寺・愛染の滝・白滝公園を訪ねました。

(4)「錦田地区を歩く」12月10日 講師 鈴木辰巳氏
バスにて谷田城跡、八王子神社（竹倉）とたどり、次いで徒歩でパサディナタウンから韮山道を玉沢妙法華寺まで、純白の富士山を眺めながら歩きました。箱根中腹にある山中城で昼食後、山中新田の宋閑寺・芝切地藏・旧街道発掘現場を見学しました。最後に、昔の箱根越えの旅をしのいで、接待茶屋から山中農場までの石だたみと、急坂で有名なこわめし坂を歩き下りました。ひざがガクガクした1日でした。この史跡めぐり等を基に作製したのが次の史跡マップです。

史跡マップ 北上地区

(伊豆佐野地区)

1 見目神社

福石、滝之本連水（明治の俳人・教育者）の句碑が残る。

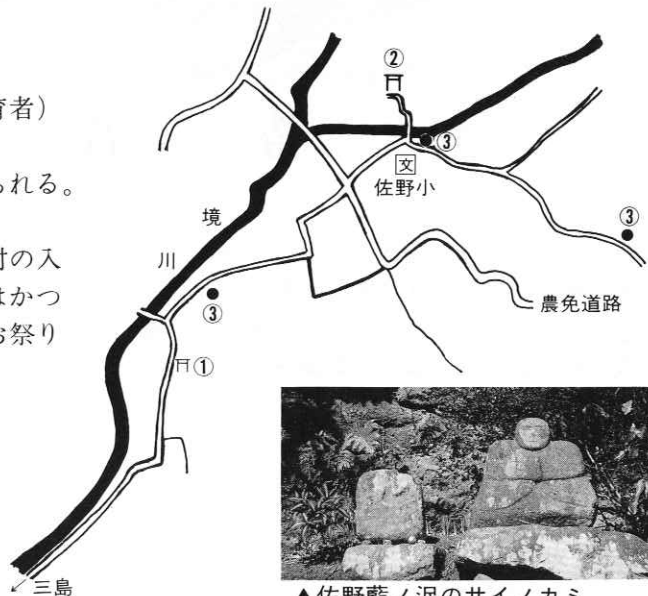
2 耕月寺（曹洞宗）六地藏・石庭が見られる。

3 伊豆佐野の道祖神（サイノカミ）

村へ侵入する災いを塞ぐ神様として村の入口に置かれた。1月14日のドント焼はかつては子供達によるサイノカミサンのお祭りだった。



▲佐野中村の丸彫のサイノカミ



▲佐野藍ノ沢のサイノカミ

1 道しるべ『佐野街道・龍澤禅寺』

大社から甲州へ抜ける古道—佐野街道と沢地道への分岐を示す。

2 鎧坂

戦国時代、この地に陣を張った武田軍が、洪水で鎧などを流されたと伝えられる。

3 連隊跡（現在の文教町）

大正8年～昭和20年まで野戦重砲第二・第三連隊が置かれた。当時の門が残る。イチョウ並木はその頃植林された。

4 一丁田八幡神社

道祖神・馬頭観音が祀られる（西斜面下）

5 千枚原遺跡

縄文時代の遺跡。敷石住居・石棒・土偶などが出土。一部緑地公園として保存。

6 カンカン穴 横穴古墳

7 唯念碑

8 龍澤寺（臨済宗、禅修業道場）

白隠禅師・東嶺禅師開山の寺。星定老師・山本玄峰師など名僧を輩出。伊豆の長八のこて絵が残る。

9 上沢地の双体道祖神

本体は郷土館入口にある。

10 耳石神社

三島七石の一つ、耳石が祀られる。耳の病に霊験があるといわれる。

11 徳倉庚申堂

12 反畑遺跡

県内有数の縄文遺跡

13 八乙女神社

祭神は天鈿女神

14 徳倉城跡

戦国時代の小田原北条氏の城。本丸跡に五輪塔が残る。

15 谷戸道祖神

16 歓喜寺（臨済宗）

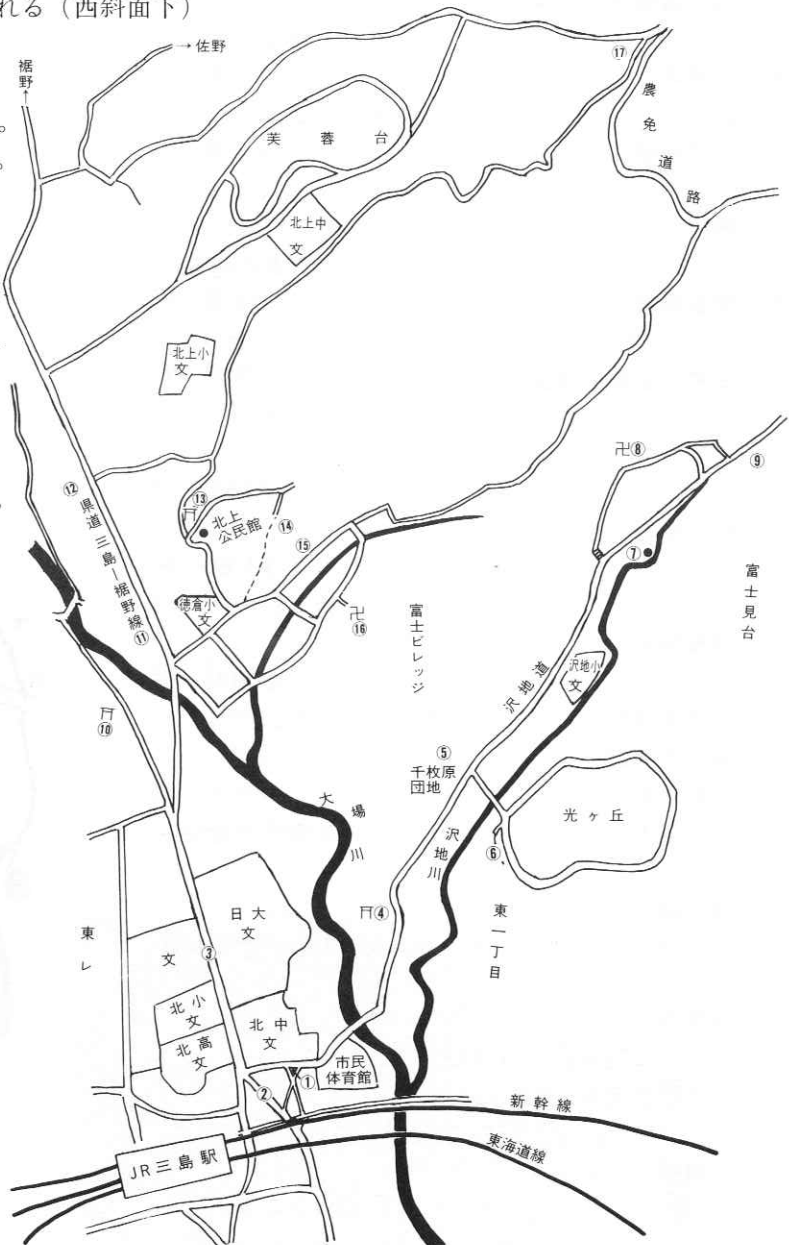
山岡鉄舟の書・伊豆の長八のこて絵が残る。

17 末広山

桜の名勝地。かつて競馬が行われた。



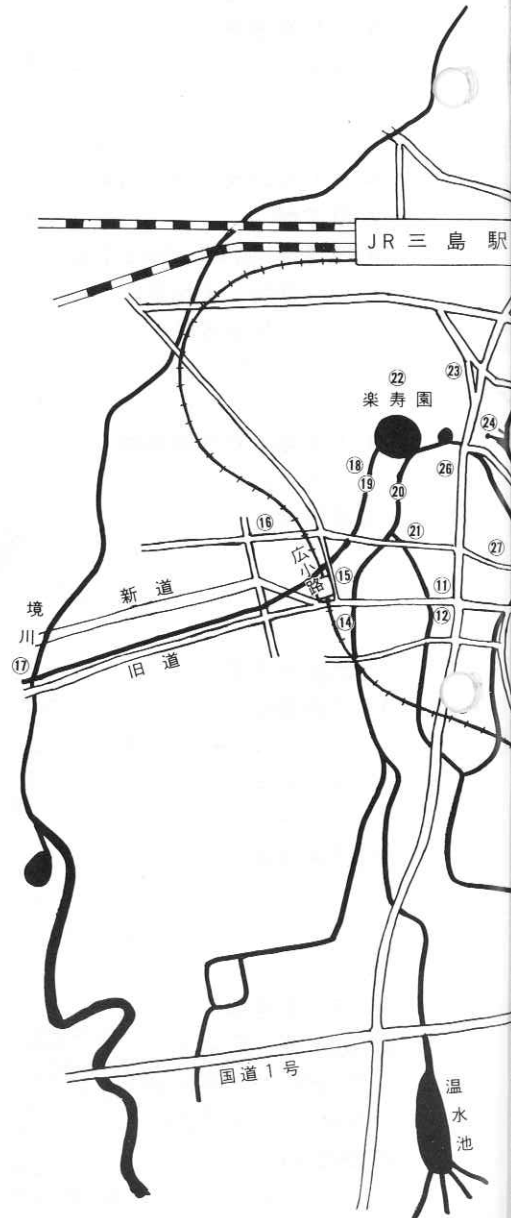
▲ ⑩ 耳石神社



史跡マップ 三島市街地

- 1 **三嶋大社** (祭神一事代主命・大山祇命)
創建は明らかではないが、鎌倉初期には伊豆一の宮として頼朝を始め多くの武将の崇敬を受けた。現在の社殿は、安政の地震で倒壊した後、明治2年までに再建されたもの。本殿・拝殿は素木権現造。境内に宝物館・芭蕉句碑・頼朝の腰かけ石・崇り石・金モクセイ(国指定天然記念物)がある。
- 2 **市ヶ原廃寺** (祐泉寺)
奈良時代の代用国分寺の塔の礎石が残る。
- 3 **法華寺**
頼朝の衣かけの松 頼朝の経塚がある。
- 4 **言成地蔵**
江戸時代の小菊伝説を伝える。
- 5 **妻塚**
頼朝の身代わりに討たれた大庭景親の妻を祀る。
- 6 **間眠神社**
頼朝が大社へ参拝の途中、ここで仮眠をとったという。
- 7 **三島代官所・陣屋跡** (三島市役所)
江戸末期、ここで農兵の訓練が行われた。
- 8 **楊原神社**
伊豆四ノ宮、三島七石の一つカエル石がある。
- 9 **桜川用水**
菰池、水泉園の水を集め、大社南の水田を潤した。かつて紺屋、傘屋などもこの水を利用した。
- 10 **問屋場跡** (市役所中央町別館)
江戸時代、三島宿の中心。継立を行った。
- 11 **世古本陣跡** 江戸時代の本陣があった。
- 12 **樋口本陣跡**
- 13 **御殿地跡** (社会保険病院一带)
三代将軍家光が上洛の折、宿泊した御殿が造営された。
- 14 **時の鐘**
江戸時代、時を知らせた鐘。現在のものは戦後鋳造された。
- 15 **蓮馨寺**
芭蕉が5回滞在。句碑がある。
- 16 **伊豆国分寺跡** (国分寺)
奈良時代の国分寺塔の礎石が残る(国の史跡)。
- 17 **千貫樋**
戦国時代、小浜池の水を駿河の国へ引くために架けられた。現在の樋は大正時代に建造したもの。

- 18 **本覚寺**
江戸時代に信仰を集めた七面観音、江戸中期の教育者並川誠所の墓がある。
- 19 **宮さんの川** (小浜用水)
楽寿園小浜池より流れ出る。





◀ 水泉園と桜川



◀ 伊豆国分寺塔跡



20 源兵衛川

楽寿園小浜池を源に、中郷地域の水田を潤す。上流部は水辺のプロムナードとなっている。

21 国庁跡 (ツバメタクシー北)

奈良時代の国府所在地といわれる。

22 楽寿園 (市立公園)

富士山の雪解け水が湧き出る小浜池を中心とした公園。明治32年、小松宮彰仁親王が楽寿館を建立し、日本庭園を造営する。

23 愛染院跡 (愛染の滝)

平安～江戸時代の真言宗大寺院の庭園の一部。

24 白滝公園

一年中湧水が絶えない。かつて水車も設置されていた。白滝観音堂があった。

25 西福寺

南北朝時代、南朝方の尊観法親王が滞在された。

26 長円寺 山門は、世古本陣の門を移築したもの。

27 円明寺

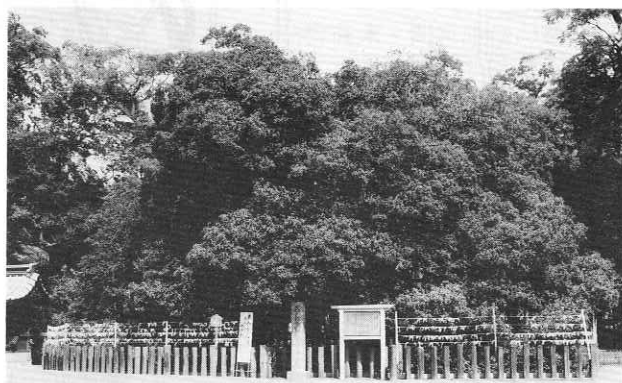
山門は、樋口本陣のもの。「孝行犬」の墓がある。

28 祓所神社

三嶋大社の祭事の時、大祓を行なった。浦島神社とも呼ばれる。

29 光安寺

鼻取り地藏・中世の板碑が残る。



◀ 三嶋大社キンモクセイ

史跡マップ 中郷地区

1 菰山道

戦国時代末よりの古道。山中城まで伸びる。

2 向山古墳群

県東部有数の古墳群。向山小の東丘陵に13基(7~8世紀)の古墳が残る。

3 覚応院塚

大場の旧家旭家の墓所。旭塾を開きその筆子塚も残る。四方に眺望が開けている。

4 法師隠 横穴古墳

5 丸山古墳

6 田種寺 唯念碑・六地藏が見られる

7 左内神社

8 右内神社

頼朝が大社の御門の神として整備したといわれる。ハリギリなど、社叢が変化に富む。

9 中島上舞台遺跡

中郷の御殿川周辺には弥生時代以後の住居跡など生活の足跡が多く出土している。現在まで続く三島の穀倉地帯である。

10 神明宮(御園)

樹齢300年以上のクスノキ(5本)、イヌマキ(5本)があり価値ある社叢を形成。

11 蔵六寺(臨濟宗)

戦国時代末期、徳倉城主笠原新六郎の建立の寺といわれる。

12 泉福寺(真言宗)

六地藏・道祖神・木喰碑などが残る。

13 宗徳院(曹洞宗)

頼朝の祠・木像が残る。松本の開発者・松本殿の墓もある。

14 御嶽神社(青木)

鎮西八郎為朝他を祀る。包瘡除けの神として小弓を奉る風習があった。



境内の親子モッコクは県指定の天然記念物。

15 手無地藏堂

頼朝伝説を伝える。地藏は秘仏としてしまわれている。

史跡マップ 錦田地区

- 1 谷田城跡 (谷田城ノ内)
応仁の乱の頃、渡辺輝雄が館を設けたのが
始めとされる。堀が一部残る。
- 2 八王子神社 (竹倉)
三嶋大神の八王子を祀る。
- 3 夏梅木古墳群
夏梅木集落の東側に19基ある。
鉄製の刀や金の耳飾りが出土
している。



- 4 葦山道
戦国時代より、葦山の代官が江戸・小田原
方面へ行く道として使われた。山中城下で
東海道と合流する。各村々へ分岐する道の
傍らには、馬頭観音などが祀られている。
- 5 餅坂の道しるべ
葦山道と玉沢一桑原 (函南) の道が交わる
四辻。坂が急で長いため。餅でも食べて力
をつけないと登れないといわれた。昔、大
雪の日にここで道に迷って死亡した旅人を
弔い、お地藏さまを彫った珍しい道しるべ。
- 6 玉沢妙法華寺 (日蓮宗)
日蓮上人の弟子日昭上人が鎌倉に開山した
寺院が、変遷の後、江戸時代初期にここへ
移された。壮大な建築は後に焼失し、往時
を伝えるものは庫裡と鐘楼である。
日蓮上人関係の遺品、金剛力士像 (推定室
町時代) 家康公愛妾・お万の方お手植の松
太田道灌家子孫の墓などが残る。
- 7 箱根旧街道
1604年(慶長9)東海道が整備され、一里塚

松並木が植えられた。1615年頃より
五ヶ新田 (塚原・市山・三ッ谷
笹原・山中) 成立。

- 8 松並木と錦田一里塚(国指定史跡)
日本橋より28里めの一里塚。対で
残るものは貴重である。

- 9 石だたみ 西坂は5ヶ所に石だたみが残る。
- 10 こわめし坂
- 11 笹原一里塚
- 12 山中城跡 (国指定史跡)
戦国時代、小田原後北条氏により築かれた
山城。関東ローム層を利用した、畝堀・障
子堀が特徴。1590年(天正18)3月29日、
4万の豊臣軍の攻撃を受け一日で落城した。
現在、史跡公園として整備されている。
- 13 宋閑寺
山中城の戦いの死者を弔うために建立され
た。一柳直末・間宮康俊の墓がある。
又、かくれキリシタンの墓と伝えられる墓
も残る。
- 14 芝切地藏堂・唯念碑
- 15 明治天皇御小休所跡
- 16 山中一里塚
- 17 接待茶屋
中断はあるが、1824年(文政7)~1950年
(昭和25)まで、篤志家の基金で旅人に無料
でお茶をサービスした。

■ 出版物のお知らせ

企画展「竹と生活」図録

この図録は、企画展「竹と生活」～竹のある暮らし～にあわせ作成したもので、本企画展の趣旨にそって、郷土を中心とした地域での竹の利用法や竹と人々の暮らしとの関連を中心に幅広く様々なテーマで構成されています。

その内容を紹介しますと――

まず、世界の竹・日本の竹から始まって、竹・笹・バンブーの違い、特に日本の竹の質と利用のされ方を説明しています。

次に、住生活と竹では、きれいなカラー写真を豊富に載せ、日本建築の中で竹の美しさをとり入れ、工夫を凝らした造りが多いことに驚かされます。

さらに、生業と竹、台所の中の竹、年中行事等でも使われる竹など実にさまざまな形で人々の生活の中には入り込み、利用されてきたことがわかります。

このように、日本人の生活にとってなくて

■ 郷土館運営協議会委員改選のお知らせ

郷土館の円滑な運営を図るため、郷土館運営協議会が設けられています。

このたび、二年間の任期が満了したことに伴い、委員が改選されました。新しく委員を委嘱した方々は、次のとおりです。

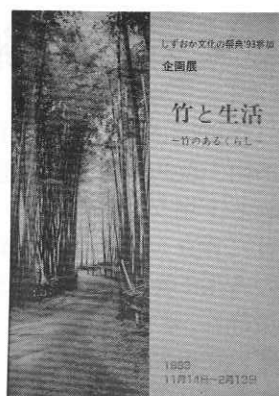
	氏名	住所
委員長	秋津 亘	三島市南本町17-14
副委員長	鈴木 辰己	三島市夏梅木872
委員	秋山 直樹	三島市初音台5-1
〃	池谷 節子	三島市徳倉734-9
〃	石井 久	三島市大社町16-26
〃	佐野 文康	三島市東本町2丁目7-13
〃	重山 芳計	三島市清住町3-25
〃	中山 久子	三島市芝本町11-26
〃	西川 惣三	三島市寿町9-33
〃	藤巻 哲雄	三島市千枚原2-2
〃	横 茂彦	韮山町寺家28

任期 平成5年12月1日～平成7年11月30日

■ 郷土館行事予定

企画展「糸機いとばたと暮らし」

平成6年3月15日～5月15日



はならない生活素材としての竹の姿が浮き彫りにされ、昔なつかしい竹製品、竹道具などの写真と解説により、あらためて、竹のもつ実用性、利便性の大きさを再認識することでしょう。

そして、遊び道具、おもちゃに加工される竹、竹に関する知識など、これ1冊あれば、あなたも“竹博士”になります。

皆様のご来館の節は、お買い求めいただきますようお願いしております。

頒価は、1冊500円です。

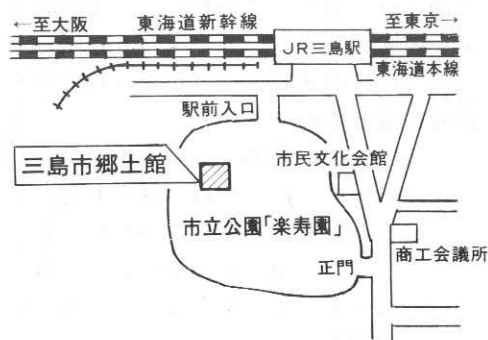
利用案内

休館日 毎週月曜(祝日の時は翌日)

12月27日～1月2日

開館時間 午前9時～午後5時

入場無料 (但し、楽寿園入場の際、有料)



三島駅(南口)から徒歩5分。市立公園楽寿園内

郷土館だより No.47

平成6年3月15日発行

(年3回発行)

編集 三島市郷土館

住所 〒411 三島市一番町19-3 楽寿園内

TEL 0559-71-8228

FAX 0559-81-3730

発行 三島市教育委員会